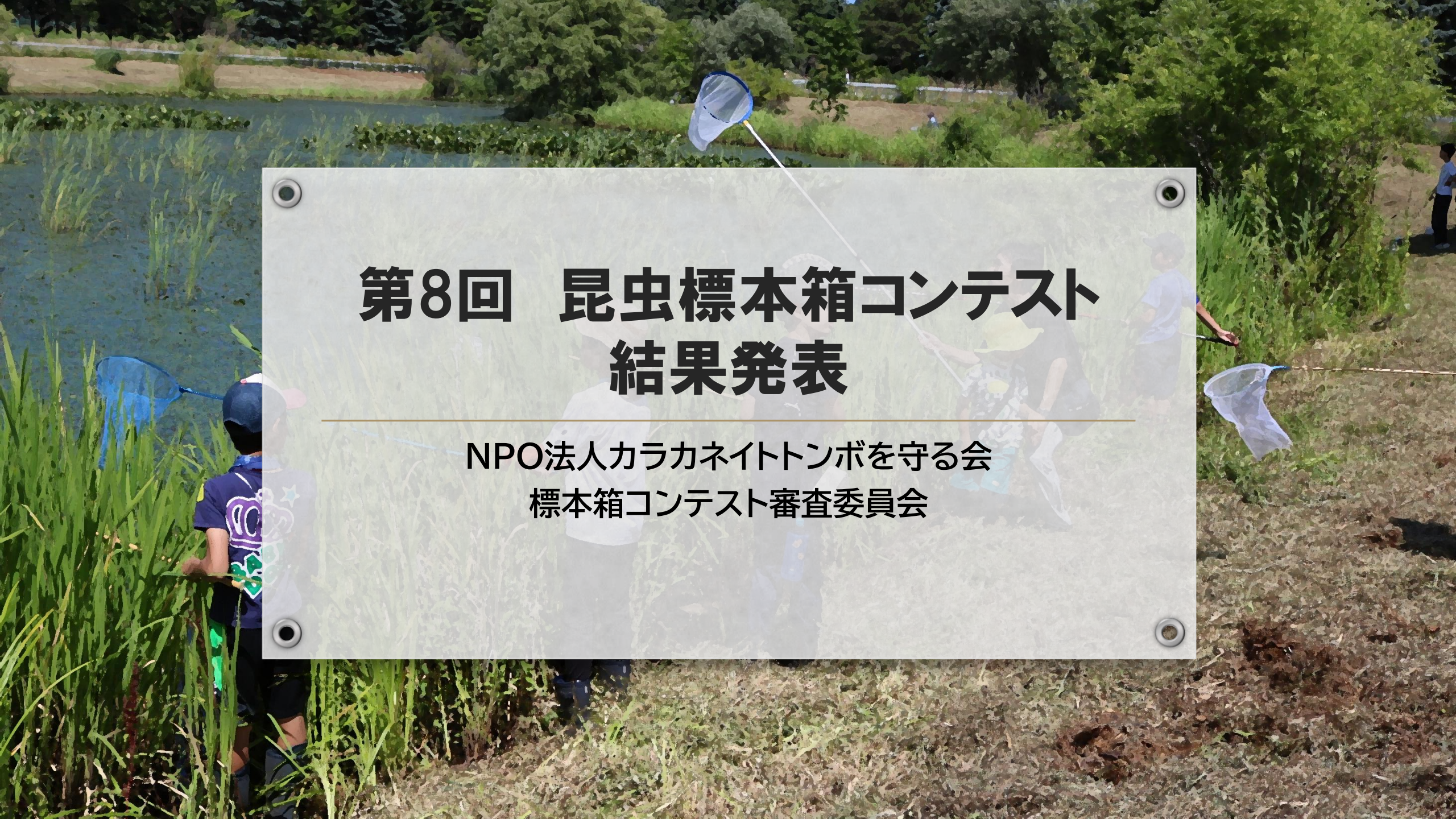


第8回　昆虫標本箱コンテスト
結果発表

NPO法人カラカネイトトンボを守る会
標本箱コンテスト審査委員会

最優秀賞

野島　康佑（のじま こうすけ）さん

「本州と北海道のトンボの違い」



審査員より

様々なトンボを、様々な地域で採集していました。そして、採集した環境やトンボの特徴をポスターにわかりやすくまとめられていました。標本も丁寧に作成されており、とても良い標本箱でした。

優秀賞

柴崎　惺（しばざき さとる）さん

「いろいろなトンボたち」



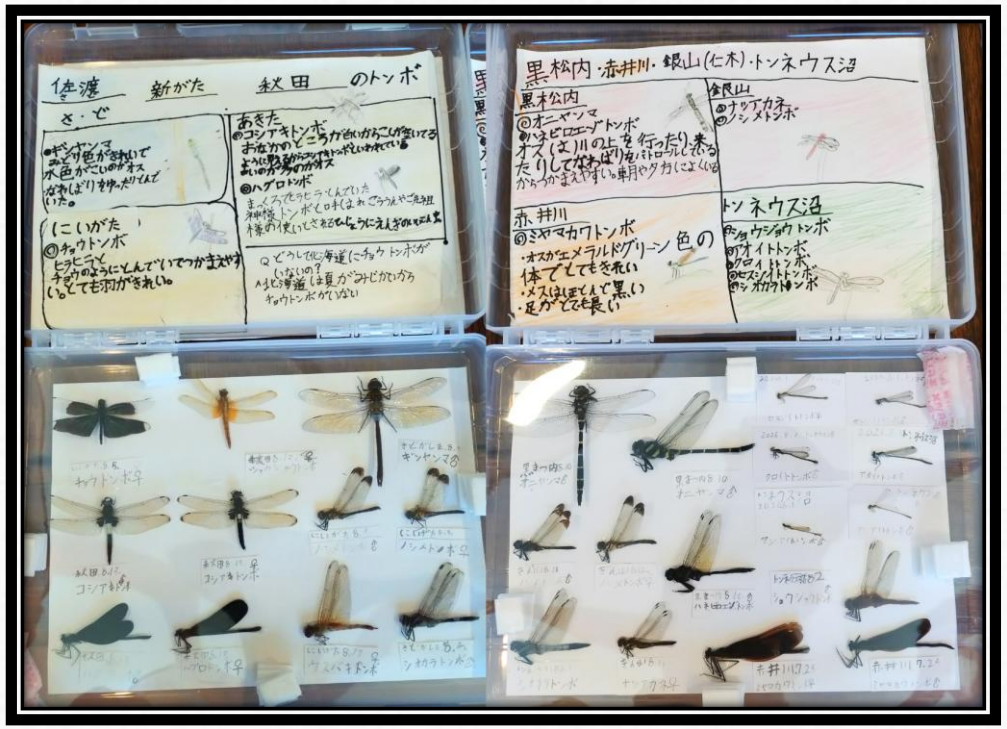
審査員より

個体数、種数ともに多かったのが印象的で、すべて標本にするのは大変だったと思います。
その多さを生かして自分なりのランキングをまとめているのも面白かったです。標本のラベルにも採った場所や日付があるとより標本として価値のある物になると思います。1匹頭が変なトンボがいましたが、これは標本として価値のないものとなってしまいます。気を付けましょう。

優秀賞

野島　陵佑（のじま りょうすけ）さん

「2026年夏休みにとった、トンボたち」



審査員より

標本そのものやラベル付けも丁寧で、「きれいな標本だな」と思いました。
レポートには、自分で観察して分かったことが書いてありました。自分で観察して分かったことは、トンボを知る上で、大事な手がかりになります。是非大事にして欲しいです。

優秀賞

隈元　遼（くまもと　はる）さん

無題



審査員より

ラベル付けについて日付、場所、名前、採集者が丁寧に書かれていて、特に採集者が自分でなくても正直に書いていることが良かったです。
またレポートでは、トンボの生息地の違いや、オニヤンマの採り方を自分の言葉でまとめていたことも良かったです。

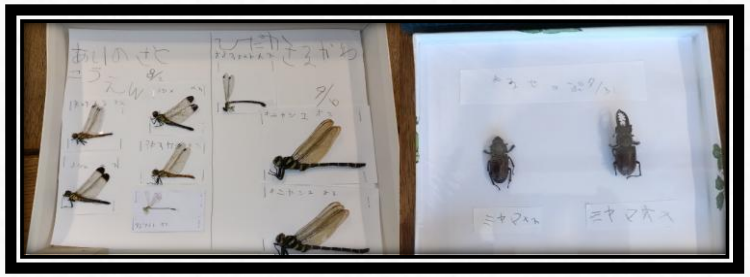
努力賞

柴崎　駈（しばさき　かける）さん
「キチョウナトンボをあつめました。」



審査員より：頑張って捕まえたのが伝わってきました。

隈元　蒼（くまもと　あお）さん
「あおがとったむし」



審査員より：標本が丁寧に作られていました。

林　つばき（はやし　つばき）さん
「水辺のともだち」



審査員より：トンボと友達になろうとした様子が伝わってきました。

全体講評

今回で8回目となった昆虫標本箱コンテストですが、7名の作品がエントリーされ、今回も白熱した審査となりました。
今回は特に「標本のクオリティ」に着目し、「丁寧に標本が作られているか」「種同定が間違っていないか」「採集した場所や日付などの情報があるか」をポイントとして審査しました。また、採集したトンボの特徴や採集地の情報、採ったときの感想などまとめたポスターやレポートも加点ポイントとしました。標本は単なる趣味として作られるだけでなく、研究資料としても使われることがあります。何気なく採集したトンボが将来、重要な研究資料として生かされるかもしれません。そのため、「標本としての価値」を意識して、今後も昆虫採集・標本作製に取り組んでみてください！

今回の副賞として入賞作品応募者には

- **賞状**
- **最優秀賞　図書券 3000円分**
- **優秀賞　図書券 2000円分**
- **努力賞　図書券 1000円分**

を差し上げます。